

岡山県ごみゼロガイドライン ～ 鋳さい編～ 概要版



◇写真は再生鋳物砂工場に集められた鋳物廃砂

平成16年3月

1 本ガイドライン策定の趣旨

県では、岡山県循環型社会形成推進条例の規定に基づき、平成15年度は産業廃棄物の「鉱さい」を“循環資源”として指定し、発生抑制等(排出抑制等)に関する指針「ごみゼロガイドライン ～鉱さい編～」を策定しました。

岡山県循環型社会形成推進条例の規定の概要（第20条～第22条）

- ①知事は、県内で多量に排出される循環資源を指定する。
- ②知事は、指定した循環資源の排出抑制等のため、排出抑制等の目標、事業者が取り組むべき事項、必要な県の施策等を定めた指針を策定する。
- ③指定した循環資源の排出事業者は、指針に沿った取り組みを行うよう努める。

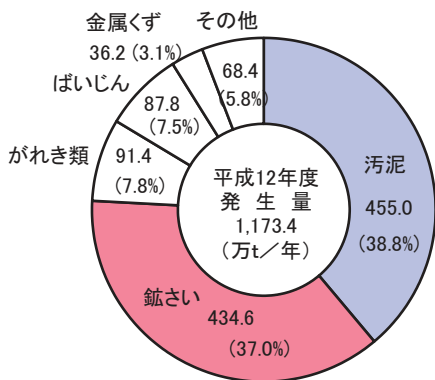
2 循環資源の指定

平成14年度には「汚泥」を循環資源に指定して、発生抑制等に関する指針を定めました。今年度は、汚泥に次いで発生量が多く、また、がれき類を除けば汚泥に次いで埋立処分量が多い「鉱さい」を循環資源に指定しました。

岡山県における産業廃棄物の特性

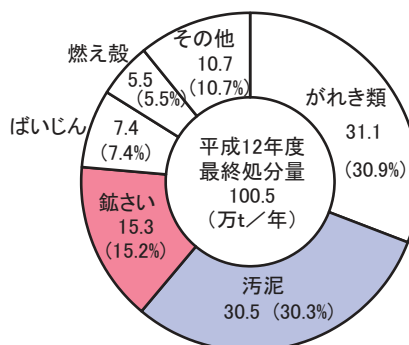
指定理由 1

種類別では、汚泥に次いで多量に発生している。



指定理由 2

がれき類を除けば汚泥に次いで多量に埋立処分されている。



循環資源の指定： **鉱さい** (平成15年6月20日指定)

汚泥 (平成14年12月3日指定)

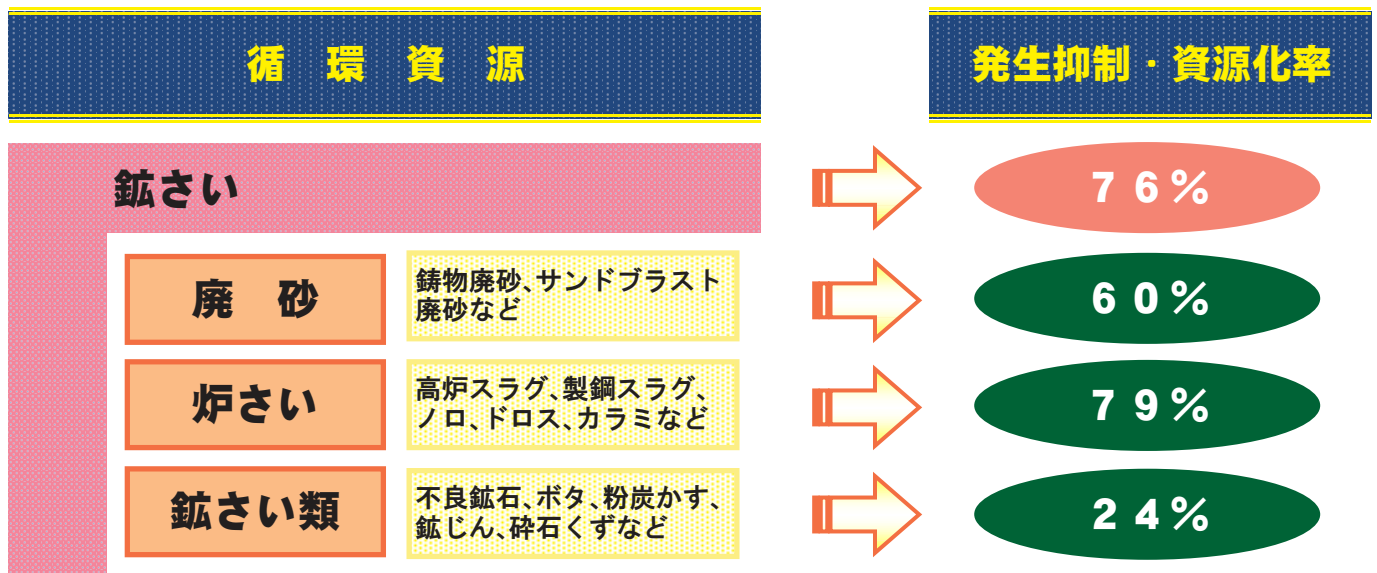
3 発生抑制等の目標

○発生抑制等の目標は、平成14年度の資源化率(アンケート調査集計値)を基に設定し、これを廃砂、炉さい、鉬さい類の種類別に「発生抑制・資源化率」で表示しました。

○発生抑制・資源化率は、平成14年度の鉬さい発生量に対する発生抑制等の量の割合で表します。

◎平成17年度を目途にこの目標が達成できるよう努めてください。

なお、目標を達成している場合は、現状を維持向上するよう努めてください。



注1) 発生量は平成14年度実績をベースとする。

注2) 本目標値は、岡山県の鉬さい発生量の約90%を占め資源化率が100%を達成している事業者を除いて設定。

注3) 製造ラインの増設・廃止などにより発生量が大幅に増減する場合は、直近年度（増設・廃止後）の鉬さい発生量に対する発生抑制等の割合を76%（廃砂であれば60%、炉さいであれば79%、鉬さい類であれば24%）とすることを目標とする。

□ 発生抑制・資源化率の計算式

$$\text{発生抑制・資源化率} = \left(1 - \frac{\text{当該年度の埋立処分量}}{\text{平成14年度の鉬さい発生量}} \right) \times 100$$

4 県民の取組

- 循環資源の循環的利用を促進するために不可欠な廃棄物処理・リサイクル施設の設置及び運営管理について、正しい理解に努めてください。
- 製品等の購入に当たっては、岡山県エコ製品のように環境に配慮した物品を積極的に選択するなど日常の生活・消費行動を通じて、循環型社会の形成に自ら努めてください。
- 県及び市町村が実施する循環型社会の形成に関する施策に対して、地域の構成員として積極的に参加し、協力してください。

5 事業者の取組

- 発生抑制や資源化の取組事例を参考に、本ガイドラインの目標の達成に努めてください。
- 現在すでに本ガイドラインの目標を達成している事業者においては、より高い目標を掲げ、発生抑制等の取組を一層促進するよう努めてください。

県内の現状及び発生抑制・資源化の方法

廃砂

- 廃砂の再生利用用途は、再生鋳物砂、道路用材、セメント原料などとなっています。
- 重金属類が添加される工程から排出される廃砂や、仕上げ工程等で異物が混入するとリサイクルが困難になるため、分別回収を行うことが重要です。
- 集塵機で回収される粉じんは、粒径が小さく不純物が混ざるなど再利用できずに埋立処分されており、リサイクル用途の開発が望まれています。

炉さい

- 炉さいの再生利用用途は、道路用材、セメント原料、コンクリート2次製品原料などとなっています。
- 電気炉酸化スラグについては、コンクリート用スラグ骨材としてJIS化（2003年6月）されたことから、今後の利用用途の拡大、リサイクルの促進が期待されています。

鉋さい類

- 鉋さい類は、鉋物の種類により発生形態や性状も様々であるため、「鉋さい類」を専門とするリサイクル業者がないのが実状です。このため、目標達成のためには歩留まりの向上による発生抑制が重要となります。
- 鉋物原料由来の廃棄物であり、性状によっては他業種で原料として利用されている事例も見られるため、情報交換制度の活用によるリサイクルの促進が期待されます。

① グリーン購入の率先実施

□ 環境物品等に関する調達方針を毎年度定め、これに基づきグリーン購入を率先実施します。

② 岡山県エコ製品認定制度

□ 循環型社会の形成に資する製品を「岡山県エコ製品」として認定し、広くその使用推進を図ります。
(鉱さい関係のものを下に示します。)

③ エコ事業所等の認定制度

□ 循環型社会の形成を推進していると認められる事業所を認定し、公表するとともに、取組の維持、促進に必要な情報を提供します。

④ 地域ミニエコタウン事業(循環型社会形成推進モデル事業制度)

□ 循環型社会の形成を推進すると認められる先進的事業を事業者の申請により承認(岡山県資源循環推進事業)し、補助金の交付等の事業支援をします。

⑤ 岡山県循環資源総合情報支援センター

□ 循環資源に係る総合的な情報発信基地として、「岡山県循環資源総合情報支援センター」を設置します。

⑥ 融資制度等の充実と活用の促進

□ 循環資源を含む廃棄物等の3Rに関する取組に対し、各種補助金・融資制度が設けられています。

岡山県エコ製品(平成16年2月現在)
[鉱さいに係る対象製品:全22企業132品目]

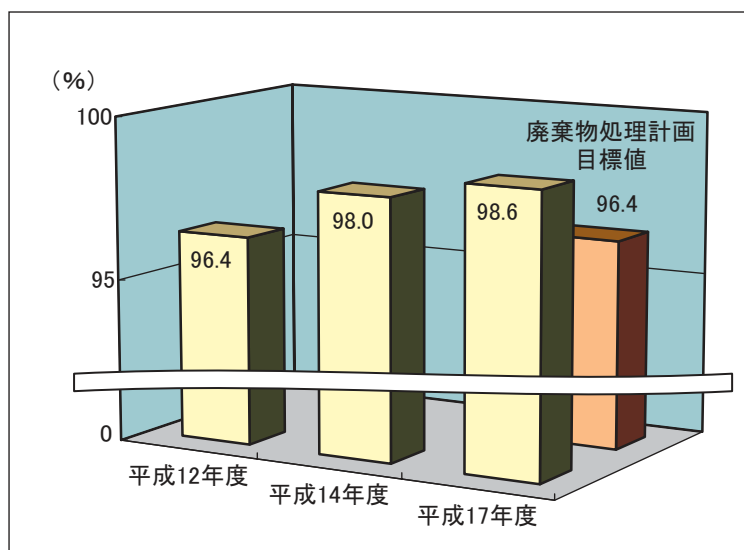


| | | | | | |
|------------|--|------|------------|---|-------|
| コンクリート2次製品 | ランデス(株) ■側溝本体・蓋、各種ブロック、フリュームなど 問い合わせ先・・・Tel.0867-52-1141 | 17品目 | コンクリート2次製品 | 三星コンクリート(株) ■側溝本体・蓋、フリュームなど 問い合わせ先・・・Tel.086-273-2800 | 6品目 |
| | 岡山県ブロック工業(株) ■側溝本体・蓋、積みブロックなど 問い合わせ先・・・Tel.0867-52-0425 | 6品目 | | (株)光田建材店 ■側溝本体・蓋、境界ブロックなど 問い合わせ先・・・Tel.086-273-1230 | 5品目 |
| | 岡山コンクリート工業(株) ■側溝本体・蓋、各種ブロック、フリュームなど 問い合わせ先・・・Tel.086-279-0551 | 28品目 | | (有)吉井ブロック工業 ■積みブロック 問い合わせ先・・・Tel.0869-54-0539 | 1品目 |
| | 光陽コンクリート工業(株) ■側溝本体及び蓋、積みブロックなど 問い合わせ先・・・Tel.0866-52-2180 | 6品目 | | (有)豊和コンクリート ■側溝本体及び蓋、芝台ブロック 問い合わせ先・・・Tel.0869-93-2332 | 3品目 |
| | (株)サイコン ■側溝本体・蓋、境界ブロック、フリュームなど 問い合わせ先・・・Tel.086-946-8717 | 9品目 | | (有)興和コンクリート ■積みブロック 問い合わせ先・・・Tel.0865-66-1397 | 1品目 |
| | (有)笹岡コンクリート ■積みブロック 問い合わせ先・・・Tel.0868-26-2300 | 1品目 | | (有)長瀬ブロック工業所 ■積みブロック 問い合わせ先・・・Tel.0868-75-1332 | 1品目 |
| | 山陽コンクリート工業(株) ■側溝本体・蓋など 問い合わせ先・・・Tel.0869-65-8888 | 5品目 | | 松本興業(有) ■積みブロック 問い合わせ先・・・Tel.0866-22-4727 | 1品目 |
| | 大ーコンクリート(株) ■側溝本体・蓋、芝台ブロックなど 問い合わせ先・・・Tel.086-287-8001 | 6品目 | | 川鉄鉱業(株) 水島製造所 ■鉄鋼スラグ混入路盤材、鉄鋼スラグ再生骨材 問い合わせ先・・・Tel.086-447-4492 | 2品目 |
| | 大和クレス(株) ■側溝本体・蓋、各種ブロック、フリュームなど 問い合わせ先・・・Tel.086-271-1221 | 17品目 | | (株)三好組 ■再生砕石 問い合わせ先・・・Tel.0866-82-0522 | 1品目 |
| | 日本興業(株) ■側溝本体・蓋、境界ブロックなど 問い合わせ先・・・Tel.0866-92-1046 | 7品目 | | ヒカリコンクリート(株) ■レディーミクストコンクリート 問い合わせ先・・・Tel.086-279-0466 | 3品目 |
| | 丸栄西武コンクリート(株) ■側溝本体・蓋、水路など 問い合わせ先・・・Tel.086-246-2900 | 5品目 | | 米田産業(株) ■土壌改良材 問い合わせ先・・・Tel.0869-64-2321 | 1品目 |
| | | | | | その他資材 |

本ガイドラインの目標を達成すると・・・

(ごみゼロガイドライン策定に係る鉱さいの処理実態調査報告より)

平成14年度の鉱さいの処理実態調査の結果、本ガイドラインの目標を既に達成している事業者が現状の資源化率を維持し、目標未達成の事業者が目標を達成した場合、鉱さいの資源化率及び最終処分量は以下のとおりになると試算されます。

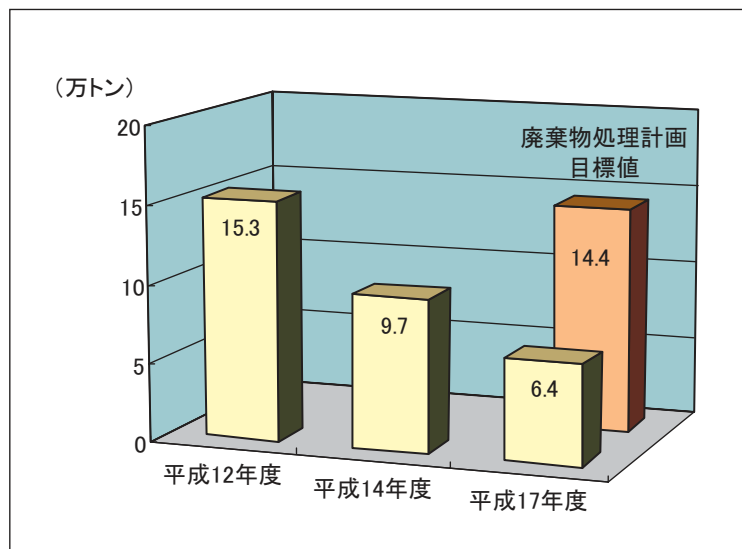


資源化率

平成14年度の資源化率は98.0%であり廃棄物処理計画の目標値(96.4%以上)を既に達成していますが、全事業者が本ガイドラインの目標を達成することにより、平成17年度には98.6%まで上昇します。

最終処分量

平成14年度の最終処分量は9万7千トンであり廃棄物処理計画の目標値(14万4千トン以下)を既に達成していますが、全事業者が本ガイドラインの目標を達成することにより、平成17年度には6万4千トンまで減少します。



◇岡山県生活環境部廃棄物対策課

〒700-8570
岡山市内山下2丁目4番6号

Tel : (086) 226-7306
Fax : (086) 224-2271
E-Mail : haikibutu@pref.okayama.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています
白色度82%再生紙を使用しています



「大豆油インク」を使用することにより、
石油系溶剤の使用量を減らしています